

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組めます



＝新規事業、



＝拡充事業

(事業名の頭に標記)



野生鳥獣対策事業

935万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

野生鳥獣による農作物等被害や人的被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の計画的な捕獲を行いました。

また、被害防止のため、電気柵等を設置された方に対する購入費用の助成や、新たに狩猟免許及び銃所持許可を取得した方に対する取得費用の助成を行いました。

鳥類捕獲数：1,729羽

獣類捕獲数：65頭（ツキノワグマ4頭、イノシシ58頭、ハクビシン3頭）



被害防止のために設置した電気柵

全国和牛能力共進会宮城大会対策事業

198万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)

5年に一度開催される全国和牛能力共進会が、平成29年9月に仙台市で開催されました。

市内で育成された和牛が数多く出場し、上位入賞できるように事前指導会や大会参加費用等の助成を行いました。



全国和牛能力共進会宮城大会参加者の皆さん

多面的機能支払交付金

4億2,542万円

(担当：農業政策課農業政策推進係)

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の保全を図るための共同活動に対して支援しました。

多面的機能支払(農地維持・資源向上)交付金

146組織 対象農地8,719.12ha

資源向上(長寿命化)交付金

23組織 対象農地1,432.48ha



子どもたちによる生き物調査

ほ場整備事業

7,084万円

(担当：農村整備課計画調整係)

ほ場の大区画化や、農地の担い手への集積化を図るため、市内16地区でほ場整備を行いました。

6次産業推進事業

1,028万円

(担当：農業政策課6次産業・ブランド推進係)

6次産業化事業への取り組みを推進するため、研修会や講演会を開催しました。

また、6次産業化事業を始める方に施設整備等の経費の一部を助成しました。

補助件数 4件

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます



=新規事業、



=拡充事業

(事業名の頭に標記)

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

1, 800万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりを支援するため、栗原市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛を、みやぎ総合家畜市場から導入した場合に補助金を交付しました。

また、産肉能力の高い^{しげひろみ}茂洋美産子、^{よしひらしげ}好平茂産子、^{かつひろ}勝洋産子の場合は、補助金を増額して市内保留を推進し、和牛資源の確保を図りました。

補助頭数：339頭



宮城県基幹種雄牛「^{しげひろみ}茂洋美号」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点的形成します



ニュービジネスチャレンジ等支援事業

120万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

産業の振興と地域の活性化を図るため、市内で新たに創業する事業者に対し、事務所等の賃借料や施設改修費等を助成しました。

【制度概要】

- ・賃借料補助（3年間）
補助率1/2、限度額4万円/月
- ・改修経費補助（1回限り）
補助率1/2、限度額50万円
- ・セミナー等参加経費補助
対象経費の2/3、限度額20万円

助成件数：賃借料補助 2事業者
改修経費補助 3事業者

企業立地投資奨励金 3億897万円

企業立地促進奨励金 3,739万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

【企業立地投資奨励金】

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて投資額の10%～15%を助成しました。

助成件数：2社

【企業立地促進奨励金】

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じて固定資産税相当額を助成しました。

助成件数：5社



大成工業(株)宮城工場



(有)築館クリーンセンター

商店街等誘客施設整備事業

2億45万円

(担当：産業戦略課商工振興係)



旧栗駒町役場跡地を栗駒山観光への基点及び商店街への集客を図る多目的な空間として整備しました。

平成30年4月にオープンした
栗原市栗駒特産物直売センター
「山の駅くりこま」

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

中小企業経営安定化支援事業

3億2,158万円

中小企業振興資金利子補給補助事業

1,123万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

中小企業者の経営の合理化及び健全な発展、安定を図るため、融資のあっせんを行いました。

また、保証料の全額と、利子負担の大きい1年目・2年目の利子額の1/2を助成しました。

【制度概要】

融資制度

- ・ 融資限度額：2,000万円
- ・ 償還年限：設備資金10年 運転資金7年

保証料補給制度

- ・ 融資に係る保証料を全額補給

利子補給補助

- ・ 利子額の1/2補助、2年間（借換え分は一部対象外）

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、 栗原市を発信します



観光周遊支援事業

129万円

(担当：田園観光課観光企画係)

観光客の二次交通対策として、市内の登録店で宿泊、食事、お土産などの買い物等の利用額に応じて、レンタカー費用の一部を助成し、誘客拡大と地域活性化を図りました。

○キャッシュバックの内容

500円の利用で1ポイントとし、ポイントに応じてキャッシュバック

4ポイント(2,000円利用)	500円キャッシュバック
8ポイント(4,000円利用)	1,000円キャッシュバック
12ポイント(6,000円利用)	1,500円キャッシュバック
16ポイント(8,000円以上利用)	2,000円キャッシュバック

○市内登録店

観る	食べる	買う	泊まる	温泉	合計
2	34	34	11	6	87



事業周知チラシ



くりこま高原駅待合室等リニューアル整備事業

1億333万円

(担当：田園観光課観光企画係)

栗原市の玄関口である、くりこま高原駅内のインフォメーション機能を強化し、国内外から訪れる観光客に対して利便性と快適性を向上させるため、改修工事を行いました。



リニューアル後の観光案内所

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、 栗原市を発信します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

スポーツ・文化合宿支援事業

50万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係、生涯学習係)

スポーツや文化の振興、地域の活性化を図ることを目的に、市内の宿泊施設に宿泊してスポーツや文化活動の合宿を行う市外の団体に、宿泊費や施設利用料の助成を行いました。

【交付実績】 スポーツ団体 4件 503,000円

台湾との国際交流事業

385万円

(担当：市民協働課地域振興係、危機対策課防災係、社会教育課スポーツ推進係)



南投市政府代表団との交流協議

台湾の南投市、花蓮縣、台北市との国際交流を推進しました。

南投市からは代表団が来訪し、交流に向けた協議のうえ、来年度から学校交流や産業交流を行うこととしました。また、花蓮縣は、栗原市の総合防災訓練へ参加し、防災を主に交流を行いました。

さらに、栗原ハーフマラソン大会へ、台北市からの選手を招待し、市民レベルでの相互交流を行いました。

スウェーデンとの国際交流事業(オーロラ大使派遣事業)

321万円

(担当：市民協働課地域振興係)

市内在住の高校1、2年生を対象に、市の大使としてスウェーデン王国に派遣し、ホームステイなど現地の家族や生徒との交流を通して、文化・歴史・行政・福祉など日本との違いを体験し、豊かな国際的視野を持った人材育成を図りました。



オーロラ大使と現地高校生

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、 栗原市を発信します



=新規事業、



=拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗駒山麓ジオパーク推進事業

2, 573万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)

栗駒山麓ジオパークへの取り組みのきっかけとなった「平成20年岩手・宮城内陸地震」から10年目の節目の年を迎え、さらに事業を推進するため、ジオパーク特産商品「栗駒山麓のめぐみ」の認定・販売促進、ジオガイドの養成を行うとともに、小中学校でのジオパーク学習、ジオツアーを充実させ、普及に努めました。

また、東北のジオパークが一堂に会して開催する「東北ジオパークフォーラム」を開催し、たくさんの方に栗駒山麓ジオパークの魅力を周知することが出来ました。



栗駒山麓ジオパーク特産商品
「栗駒山麓のめぐみ」認定式



栗駒山麓ジオパーク整備事業

8, 234万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)

平成27年9月に日本ジオパークに認定された栗駒山麓ジオパークを、市内外へ情報発信するとともに、体験、学習等の活動拠点として、平成30年度までの2か年事業でビジターセンターの整備を進めているほか、ジオサイトの説明看板の整備を行いました。



ビジターセンターの外観イメージ図

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、 栗原市を発信します

新 = 新規事業、拡 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

拡 インバウンド等推進事業

769万円

(担当：田園観光課観光企画係)

訪日外国人旅行者の誘客を図るため、近隣市町村と協力しながら、プロモーションや情報発信など、広域観光事業の展開をしました。



4市町連携事業で出展した台湾国際旅行博（ITF2017）

拡 くりはら田園鉄道公園運営事業

4,596万円

(企画課企画政策係)

貴重な旧くりはら田園鉄道の資産を展示、公開する「くりでんミュージアム」をオープンしました。

KD95等気動車の動態保存及びレールバイク乗車会などのイベント開催とあわせ、くりでんの魅力を発信し、さらなる観光誘客を図りました。

◆くりでんミュージアム来館者数 18,445人

◆運転シミュレーター利用者数 1,823人

◆イベント実施状況

くりでん乗車会 開催回数12回 来場者数3,738人

レールバイク乗車会 開催回数19回 来場者数4,430人

気動車(KD95)運転体験 開催回数2回 参加者数14人



くりでんミュージアム外観



くりでんミュージアム内部の様子